

Market Watching

発表日:2019年3月11日(月)

FRBのハト派色はどの程度か(マーケットウィークリー)

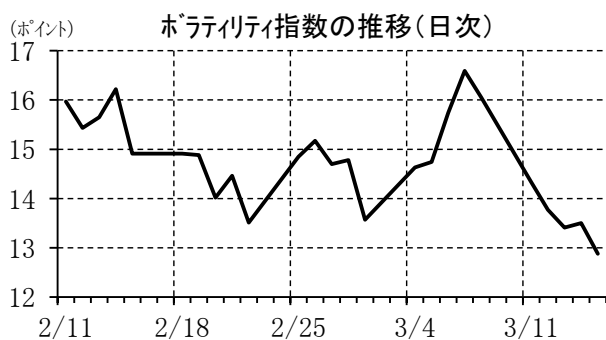
～米景気に対する不安感薄ければドル安余地は限定的～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
3月11日(月)	米国:小売売上高(1月)・全体 ・除自動車	+0.2%	+0.1%	▲1.2%	前月比
		+0.9%	+0.5%	▲1.8%	前月比
3月12日(火)	日本:法人企業景気予測調査(1-3月) 米国:消費者物価指数(2月)・総合 ・コア	▲7.3	-	+5.5	BSI大企業製造業
		+1.5%	+1.6%	+1.6%	前年比
3月13日(水)	日本:企業物価指数(2月) 日本:機械受注統計(1月)・船電除く民需 ユーロ:鉱工業生産(1月) 米国:生産者物価指数(2月)・最終需要 ・最終需要(コア)	+0.2%	+0.1%	▲0.6%	前月比
		▲2.9%	▲2.1%	+0.9%	前年比
3月14日(木)	中国:鉱工業生産(1-2月) 中国:小売売上高(1-2月) 中国:固定資産投資(1-2月) 米国:新築住宅販売件数(1月)	+5.3%	+5.5%	+6.2%	前年比
		+8.2%	+8.1%	+9.0%	前年比
3月15日(金)	日本:日銀金融政策決定会合・政策金利 ・10年債利回り操作目標 米国:NY連銀製造業景気指数(3月) 米国:鉱工業生産指数(2月) 米国:ミシガン大学消費者信頼感指数(3月速報値)	▲1.0%	▲0.10%	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
		0.00%	0.00%	0.00%	10年物国債利回り
3月16日(土)	-	-	-	-	前月比
3月17日(日)	-	-	-	-	-



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	2.587	▲4.1	▲7.6	+15.3	2.497	2.562	2.659
日本	-0.040	▲0.5	▲1.5	▲8.5	-0.026	-0.001	0.058
ドイツ	0.084	+1.5	▲1.7	▲49.2	0.112	0.186	0.318
豪州	1.979	▲5.1	▲12.1	▲72.6	2.086	2.246	2.499
株価							
NYダウ	25848.87	+1.6	▲0.1	+3.9	25749	24661	25134
日経平均	21450.85	+2.0	+2.6	▲1.6	21324	20887	21916
ユーロSTOXX50	3386.08	+3.1	+4.5	▲0.8	3278	3147	3274
上海総合	3021.75	+1.7	+12.7	▲8.2	2898	2679	2718
為替相場							
ドル/円	111.48	+0.3	+0.9	+4.8	111.09	110.64	111.44
ユーロ/円	126.26	+1.1	+1.3	▲3.5	125.68	125.80	128.00
豪ドル/円	78.99	+0.9	+0.1	▲4.7	78.87	78.97	80.52
ユーロ/ドル	1.1326	+0.8	+0.3	▲8.0	1.131	1.137	1.149
商品市況							
WTI	58.52	+4.4	+5.3	▲4.4	56.17	52.42	61.71
金	1302.9	+0.3	▲1.2	▲1.1	1310	1289	1247

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (3/11~3/15) の金融市場は、債券利回りは低下する一方で、株価は堅調に推移した。米小売売上高が市場予想を上回った一方で、米消費者物価はコアベースで伸びが鈍化、市場予想を下回ったことが背景。米景気が減速度合いを深めるとの懸念が打ち消されたうえ、米金融政策においては万一の場合には緩和に向かいやすい環境にあるとの見方が債券高・株高、そしてドル高につながった。一方、イギリス議会はEUからの離脱合意案、合意無き離脱案をともに否決し、離脱までの期間延長を採択した。事前予想通りの結果で英ポンドは底堅く推移したとはいえ、あらためて先行きが見通せない状況にあることが露呈した。

今週のマーケットは、FOMC後に発表される声明文やメンバーの見通しに注目が集まる。年内の利上げ予想回数は“ゼロ回”になるとの見方が強いが、利上げや利下げを見込むメンバーの有無などにも関心が集まる。利下げを予想するメンバーが利上げを予想するメンバーよりも多いようであれば、債券利回りのカーブにも影響を及ぼす。同時に、年内のバランスシート縮小打ち切りが決定するかどうかにも注目が集まる。これらの内容次第で市場へのインパクトは異なるが、ハト派色が強ければ金利の低下に繋がり、米国や新興国では株価も押し上げよう。一方、米金利の低下はドル安要因となるが、景気に対する不安感が薄い状況ではドル安余地も限定的なものにとどまろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

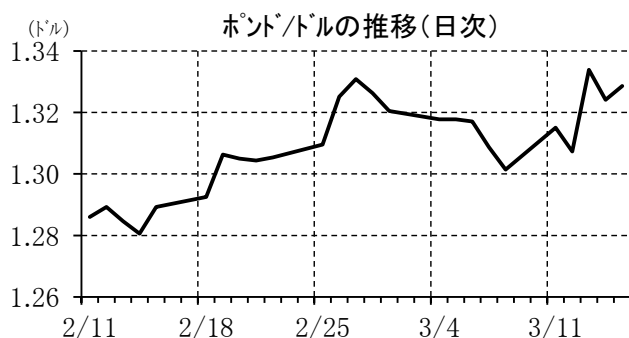
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月18日(月)	日本：貿易統計(2月)・輸出 ・輸入 ・貿易収支	★★	▲0.6% ▲6.5% +3,051	▲8.4% ▲0.6% ▲14,156	前年比 前年比 億円
3月19日(火)	—				
3月20日(水)	タイ：金融政策委員会 英国：消費者物価指数(2月) 米国：FOMC・上限金利 ・下限金利 ・パウエルFRB議長記者会見 ブラジル：金融政策委員会	★★ ★★ ★★★	1.75% +1.8% 2.50% 2.25% 6.50%	1.75% +1.8% 2.50% 2.25% 6.50%	翌日物レボ金利 前年比 FF金利 FF金利 政策金利(Selic)
3月21日(木)	台湾：金融政策委員会 フィリピン：金融政策決定会合 スイス：金融政策決定会合 ノルウェー：金融政策委員会 英国：金融政策決定会合 米国：フィデラルリア連銀製造業景況感指数(2月)	★ ★ ★	1.375% 4.75% ▲0.75% 1.00% 0.75% +3.0	1.375% 4.75% ▲0.75% 0.75% 0.75% ▲4.1	公定歩合 翌日物レボ金利 SNB要求払預金金利 中銀預金金利 翌日物貸出金利 ポイント
3月22日(金)	日本：全国消費者物価指数(2月)・総合 ・除生鮮食品 ユーロ：PMI製造業景気指数(3月) 米国：中古住宅販売件数(2月)	★★ ★★★★ ★	+0.3% +0.8% 49.5 508	+0.2% +0.8% 49.3 494	前年比 前年比 ポイント 万件
3月23日(土)	—				
3月24日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

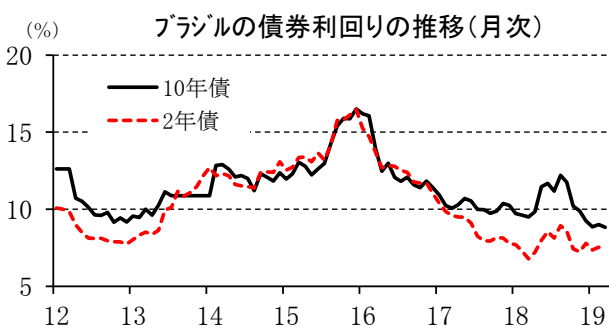
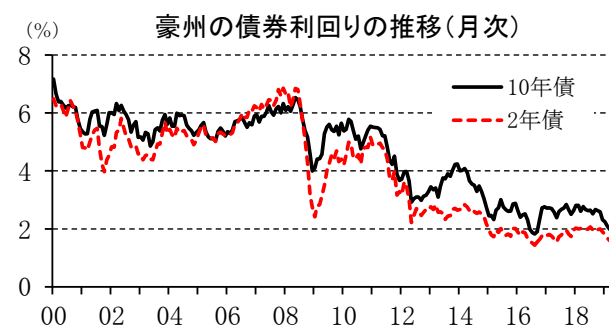
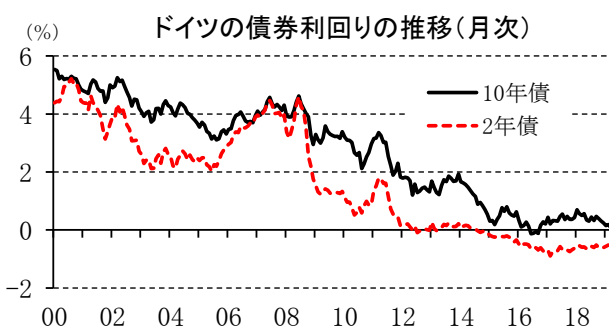
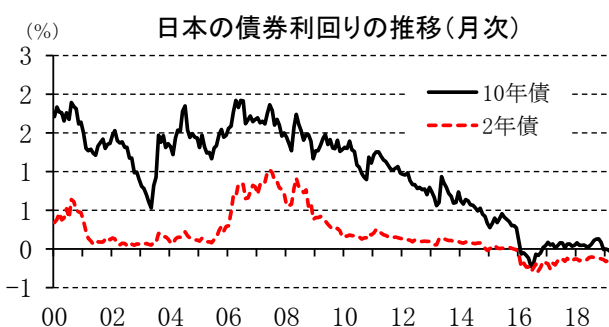
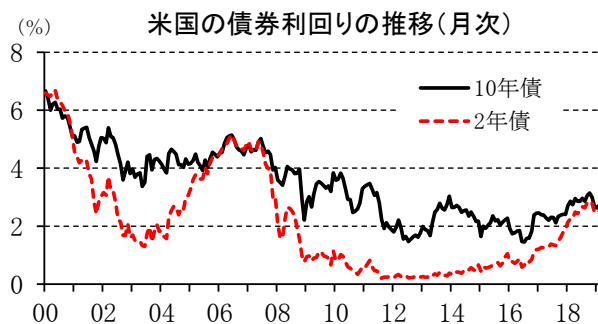
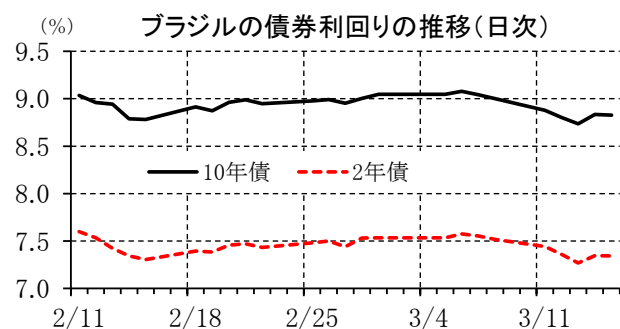
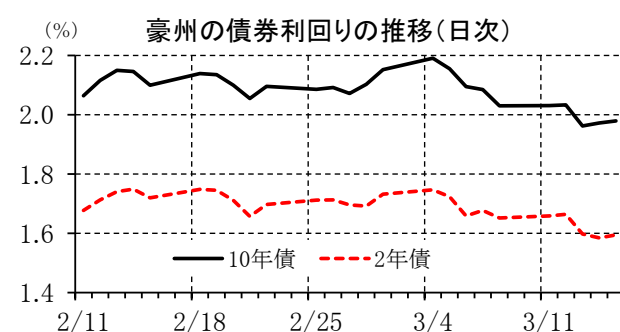
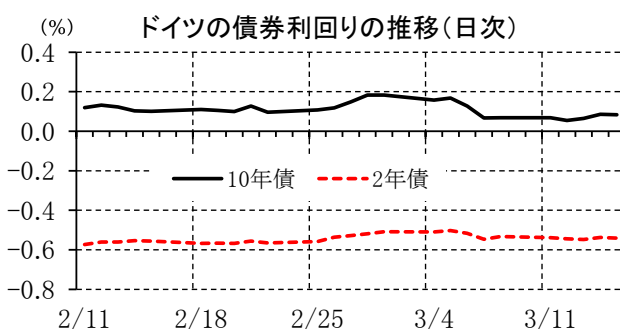
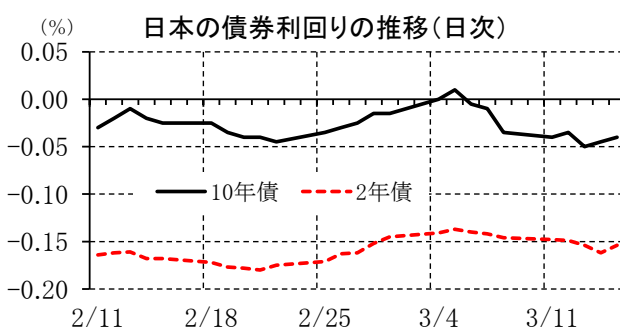
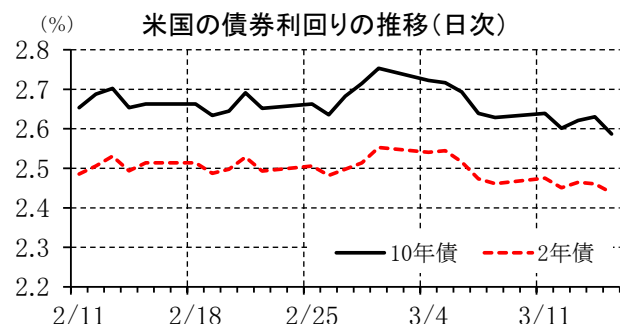
その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
3月18日(月)	—		
3月19日(火)	—		
3月20日(水)	日本：金融政策決定会合議事要旨(1月分) 英国：離脱の合意受け入れ期限	★ ★★★★	
3月21日(木)	EU：欧州首脳会議(~3/22) ユーロ：ECB月報	★★★★	
3月22日(金)	日本：月例経済報告	★	
3月23日(土)	—		
3月24日(日)	タイ：総選挙	★	

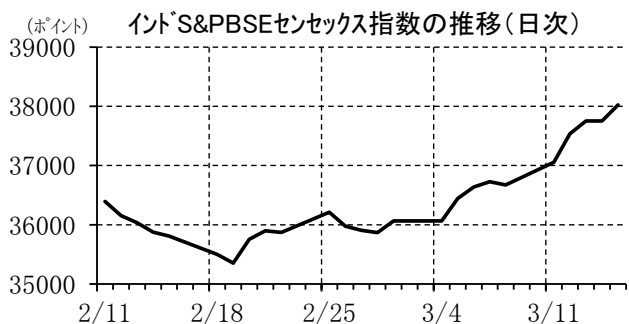
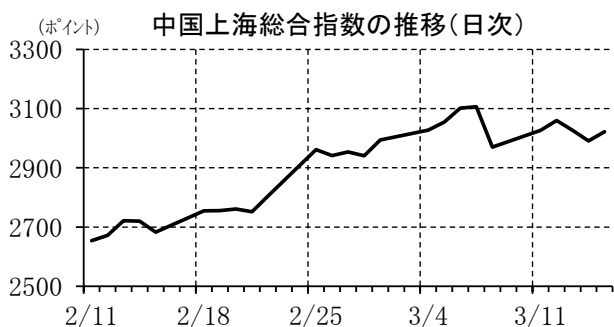
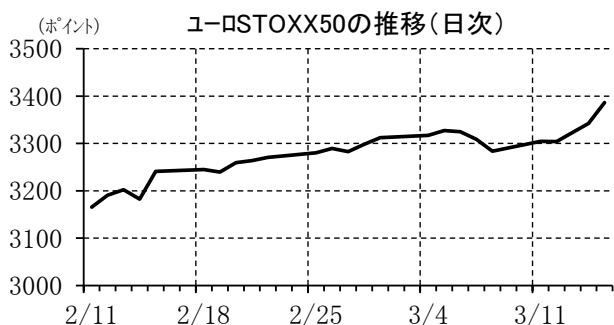
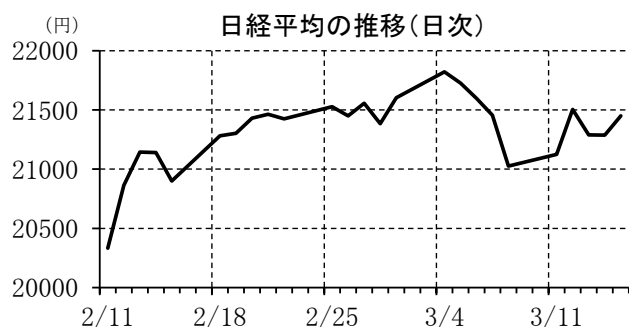
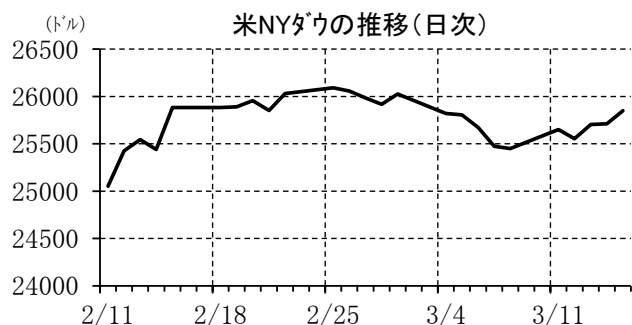
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



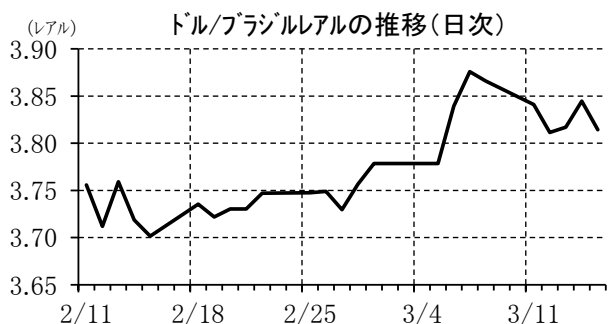
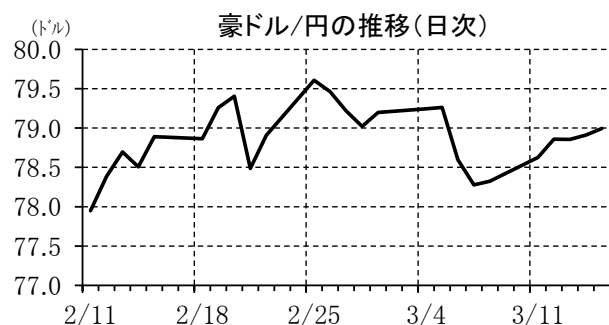
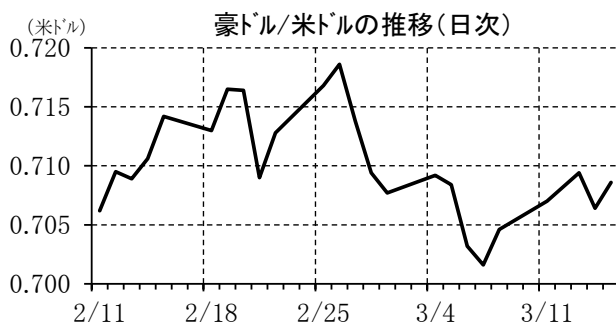
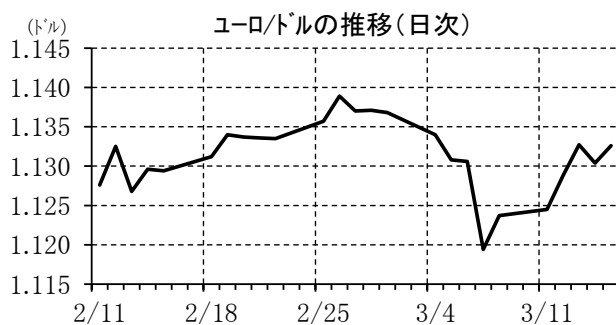
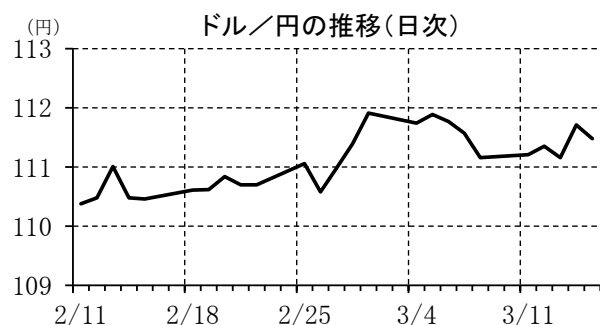
【債券利回り】



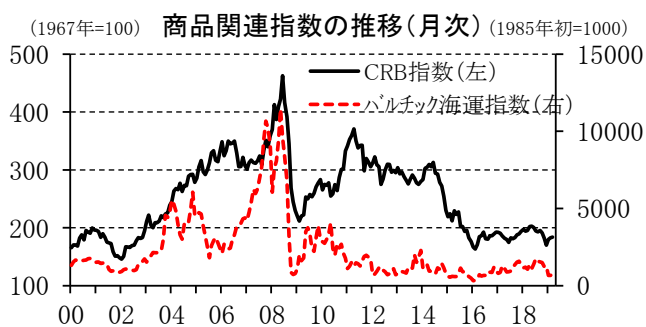
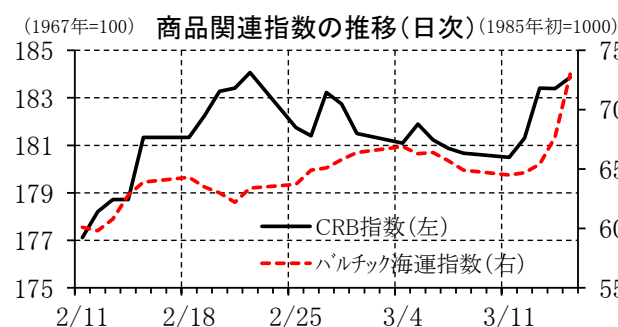
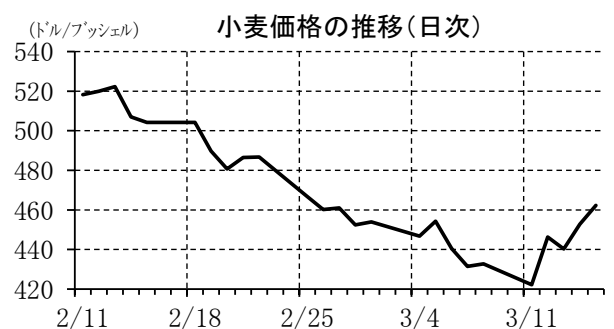
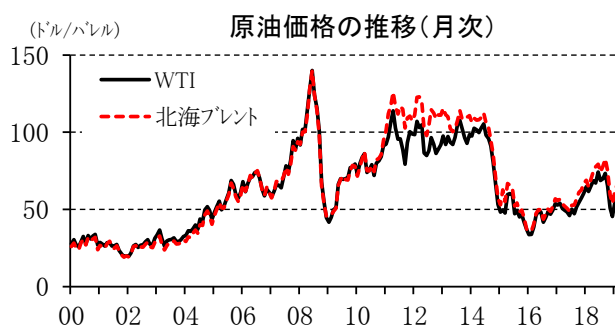
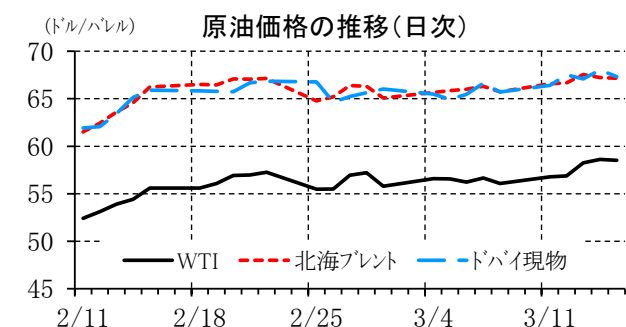
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。